

旅には好奇心と

“たびレジ”を

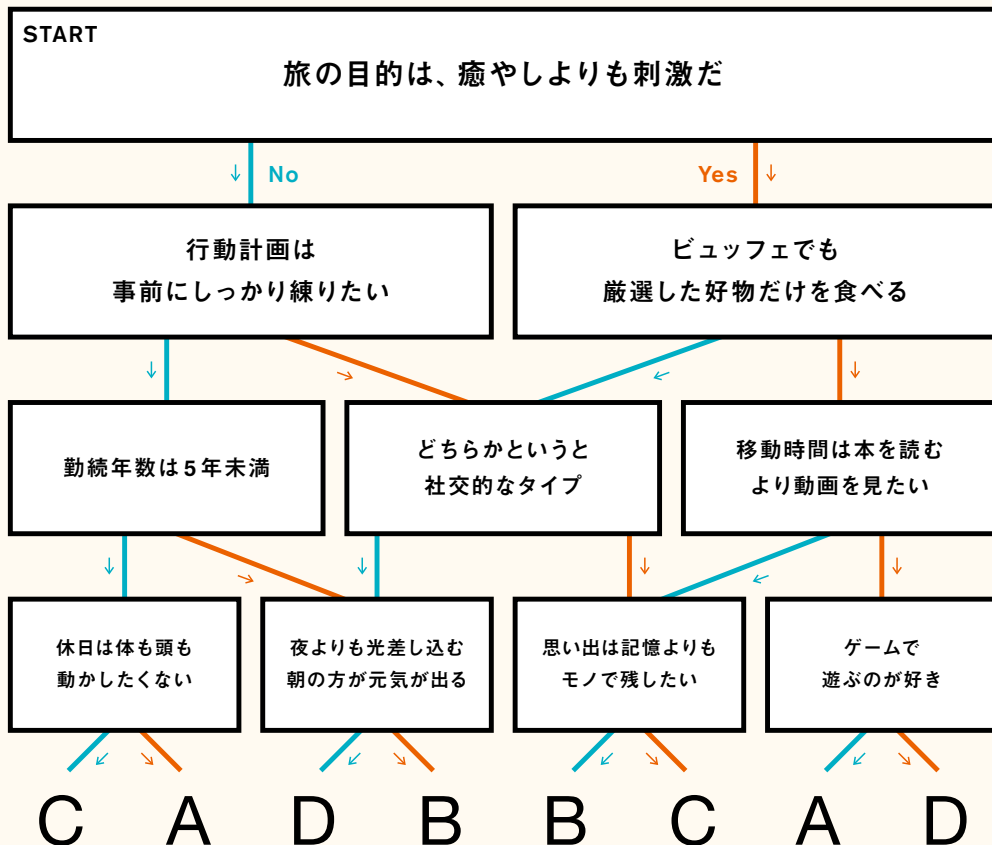
by TRANSIT × 外務省

たびレジって？



外務省が発信する海外旅行者・出張者に向けたメールサービス。必要事項を登録すると、旅行期間中自動的に現地の安全情報や緊急速報が日本語で送られてくる。渡航先で万が一大規模な事件・事故・災害等が発生した際は、登録した情報が安否確認にも利用される。また、渡航予定がなくても、「簡易登録」でさまざまな国の情報を収集できる。

〈気分で診断！ 次の旅先は…？〉



A. のんびり癒やされる 南国ビーチリゾート

行き先候補：ハワイ、モルディブ、グアム、バリ、ゴールドコースト…etc.

とにかく何もせず心と体を休めたいときは、青く輝く海に癒やされるビーチリゾートへ。眩しい日差しを浴びながらのんびり泳いだり、海辺で読書をしたり。騒々しい日常を忘れて、ゆっくりとした時間を過ごすのが大人の贅沢。

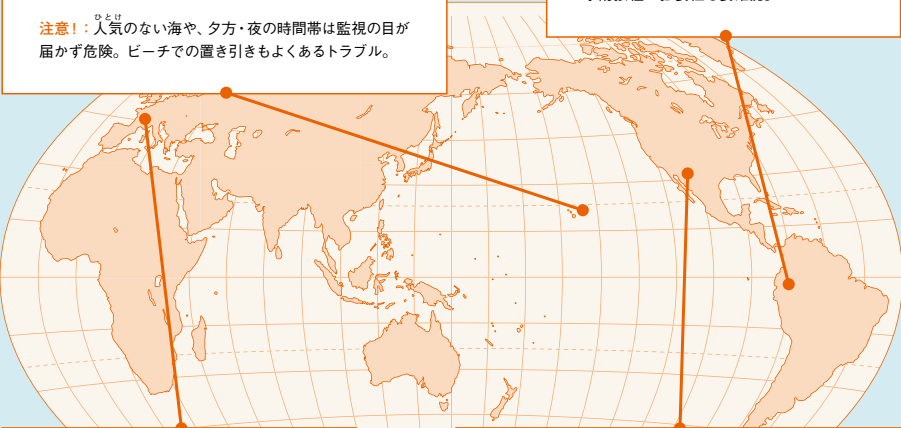
注意!：人気のない海や、夕方・夜の時間帯は監視の目が届かず危険。ビーチでの置き引きもよくあるトラブル。

B. ロマン感じる 大自然と秘境の地へ

行き先候補：ペルー、ブラジル、エジプト、ケニア、マダガスカル…etc.

好奇心が旺盛なあなたには、地球の神秘に出合う旅がオススメ。その土地独特の空気感や創造物など、力強い自然の美しさを存分に味わって。大自然・秘境へは移動が長くなりそうだけど、きっとそれ以上の感動が待っている。

注意!：現地の自然災害情報を確認して、ベストな時期を選んで。感染症の情報や、予防接種の必要性も要確認。



C. 自分にご褒美! ショッピングツアー

行き先候補：パリ、ロンドン、モロッコ、ニューヨーク、ベトナム…etc.

たまには、頑張っている自分にご褒美。ファッションの最先端をいくショッピング街や地元マーケットで、日本にない限定品や未進出のブランドなどをお買い上げ。色んなお店を回りながら、その土地の街の流行や雰囲気を堪能して。

注意!：旅の資金は必ず分散し、大金を持ち歩かないよう注意を。値札がない時は額をしっかりと確認すること。

D. 華やかな夜の街の エンタテインメントを満喫

行き先候補：ラスベガス、マカオ、済州島、シンガポール…etc.

夜も賑わうエンタテインメントの街で、お酒やゲーム、ショーを堪能。煌びやかで高級感溢れる世界観に、テンションが上がらずにはいられないはず。夜の街は紳士淑女の社交場なので、節度を守って優雅な時間を過ごして。

注意!：遊びに夢中になって、貴重品から目を離さないように。荷物は常に、自分の身体に触れるように持ち歩くこと。

01.

正義か悪か……“警官”にご用心

case:

country: メキシコ、モンゴル



椎名 誠さん

世界各地を冒険し続ける作家。近著に「かぐや姫はいやな女」(新潮社)など。

緊張感をもって旅している分には、あまり危険な目に遭わないですよ。これまで数々の辺境や危険地帯への旅をくり返してきましたが、いちばん怖いのは旅のクライマックスを終え安心してるときです。何十日、何カ月も大自然の中にいて、そこから帰国のために都市に出るときなんかは特に危険ですね。

野生動物より人間のほうが要注意です。特にタチが悪いのが偽警官。メキシコには「警官が来たら逃げろ」という民間警告があるほどです。実際、なにかにつけて偽警官がいちゃもんをつけてくる。スペイン語が分からずまごついてると、どんどん警官が増えてくる。「参ったなあ」と思っていたら途中で本物の警官が現れて、偽警官がいなくなりましたけどね(笑)。

モンゴルでも取材に同行したスタッフが路地裏で偽警官に出くわし、モンゴル語が分からないこともあり押し問答になって、結局お金を盗られてしまいました。金で済むならまだいいですが、パスポートや命をとられてしまったら怖いんですよね。偽警官については未だ解決策がなく困った問題ですが、「警官の格好だからといって必ず信用してよいわけではない」ということを知っているだけでも違いますよね。

たびレジがあれば……

偽警官が多く出没する地域では、注意喚起や被害速報、対策方法等を配信。もし遭遇したと思っても焦らず、たびレジから送られてくる現地大使館の連絡先に相談するのが一番。

旅名人の トラベルトラブル体験談

どんなに海外経験が豊富でも油断は禁物。仕事やプライベートでよく海外を訪れるという著名人6人が、実体験を語ってくれた。

02.

旅は情報が命

case:

country: エジプト



竹内海南江さん

「世界ふしぎ発見!」(TBS系)のメインレポーターとして30年以上活躍。これまで訪れた国は100を超える。

FAXもない時代からミステリーハンターをやっていますが、危ない目に遭ったことは一度もありません。それもこれもスタッフの綿密な事前リサーチのおかげ。現地でもコーディネーターの注意をよく聞きます。旅は元気に帰ってナンボですもん。

最近は途上国でも一人旅をするたくましい女性が増えています。知ってほしいのは、例えばインドだと生足、イスラム圏だと首筋と、国によって色気を感じるツボが違うこと。それに、気に入った女性には情熱的にアプローチする人が日本より多い。でも優しくされたからといって、浮かれてあまり心を許しすぎるのは要注意です! そういう手口の犯罪も実際にありますからね。そうそう、エジプト取材に行ったときは、番組ADの女性が現地男性の好みにドンピシャで、もう行く先々で口説かれていたわね。え、私? すずんで彼女のボディガードに徹しましたよ。演者なのに(笑)!

今は世界中の事情がネットで分かる世の中になりました。便利になったものです。でもいろいろな情報が錯綜しているので、外務省が各地の最新情報をリアルタイムで発信してくれるのは安心ですね。もちろん、私のチームのスタッフ全員にたびレジに登録してもらっています。

たびレジがあれば……

旅を楽しむために現地の安全情報は必須。事件、災害、ストライキ、女性を狙った犯罪の情報も随時届きます。家族等の連絡先を登録すれば同じ情報が届くので、安心材料にも。

03.

country: トルコ



藤井美菜さん

日本や韓国等のアジアで活躍する女優。映画「デスノート Light up the NEW world」「シャボン玉」などに出演。

case:

親切なタクシー運転手が豹変

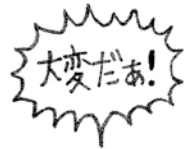
私自身、本当は出不精なんですけど、19歳のとき元CAの母に「若いうちにいろんな世界を見るべきだ」とイタリア旅行へ連れ出されたのがきっかけで、仕事でもプライベートでも積極的に海外に出かけるようになりました。でも意外とトラブルに遭ったことはないんです。根が真面目なので危ないことはしないし、ガイドさんやスタッフさんの忠告は素直に聞くようにしているの。特に身近な人の体験談を聞くとき身が引き締まります。

印象的だったのがテレビの撮影で出かけたトルコでの話。タイトなスケジュールのなか、助監督さんがタクシーで移動していたんですが、その運転手さんがとても親切な方で、あれこれ裏道を駆使して無事に目的地に間に合わせてくれたんだそうです。そこまではよかったんですが、助監督さんが料金を支払おうとしたとき、撮影経費でパンパンに膨れた財布を見て、運転手さんがひょいっと取り上げてしまったんですって。

まだ撮影は序盤だったし、このまま盗られたら番組が中止になってしまうところでした。結局財布は戻ってきたんですが、その話を聞いてスタッフ一同「大金を無防備に持ち歩くのは危険だね」と身を引き締めました。

たびレジがあれば……

旅先で使いやすい被害傾向等の情報が入手できる外務省の海外安全ホームページのURLが得られます。旅の前には、基本的な安全対策を身につけておきましょう。



04.

country: アフリカ某国



佐藤健寿さん

写真家。代表作は世界の珍奇な建築物や場所を撮影した写真集「奇界遺産」シリーズ。テレビやラジオでも活躍。

case:

思いがけない内紛・暴動に遭遇

海外取材にはしょっちゅう出かけていますが、不案内な土地ではガイドを雇いますし、渡航前には必ず外務省の海外安全ホームページをチェックして、十分気をつけています。例えば昔イエメンに行こうと思ったとき、直前に大規模な自爆テロが起きて、外務省のホームページで見られる危険度マップが赤（避避勧告）になったのでやめたこともありますよ。

ただ、どんなに事前に調べても、渡航中に思いがけないトラブルに直面することがあります。アフリカ某国のとある村に行ったときには、集落を抜ける路上で突然政府に対する暴動が起きました。「これは引き返すしかないな」と戻ったら、反対側でも暴動が始まって、村で足止めを食らってしまった。取材だったので撮影したいところだったのですが、危ないからとガイドに強く止められて適いませんでした。別の国に行ったときにも首都で大規模な反政府デモが起こりましたね。市内の中心部が通れなくなり、撮影が難航した記憶があります。

日本ではなかなか報道されない海外の小さな事件や、現地に行ってしまうから危険情報を得るには、いったい何を見ればいいのか……、と思っていました。たびレジに登録すればいいんですね。

たびレジがあれば……

旅先で暴動やテロ、自然災害等の緊急事態が起きた場合にも、日本語で迅速に情報が得られます。デモ等事前に届く情報もあるので、渡航先で計画をたてる材料にもなります。

05.

country: ヨーロッパ各国



篠原信一さん

2000年シドニー五輪で銀メダルを獲得し、柔道日本男子代表監督も務めた柔道家。現在はタレントとしても活躍中。

case:

はしゃぎすぎて警察が銃を……

現役時代は海外遠征が多く、ピーク時はひと月に3回ほどこなしてました。体の大きな柔道家であっても、とにかくコーディネーターの注意をよく聞いて、必要以上に夜出歩かないようにしていました。柔道世界一でも、知らない国は怖いもんですよ。

とはいえ、やっぱり柔道家は元気のええのが多いんです。監督時代の海外遠征で、ヨーロッパあたりに行ったときのことなんですけど、若い選手たちが公園の噴水でアホみたいにはしゃいでいたら、警官に銃を突きつけられて連行されたことがありました。当時選手には、警察でも強盗でも、いちゃもんつけられても絶対に抵抗せずに、パスポート以外の持ってるものは全部出せと日頃から指導してました。いくら投げ飛ばせる自信があっても、怪我したり事件になったりしたらモトもコもないですからね。結局そのときは何事もなく帰って来られたんでよかったですよ。

国によっては、思いがけないところでルール違反や危険が潜んでいます。だからいつも自分で用心する姿勢がないといかんとしますね。実際に旅行せんでも、たびレジに気になる国を「簡易登録」すると色んな情報が入ってくるから、読んでおくだけでむっちゃ賢くなれそうですね。

たびレジがあれば……

旅の日程が確定してなくても、気になる国や都市を「簡易登録」すれば、現地の最新情報がメールで送られてくる。次の行き先選びや、世界を知る学びのツールとしても便利。



06.

country: ボルトガル



小林エリカさん

作家、マンガ家。小説「マダム・キュリーと朝食を」(集英社)が芥川賞、三島賞候補となり注目を浴びた。

case:

ガイド本に書かれていた泥棒市で……

海外には一人で行くことが多いわりに、事故や犯罪に巻き込まれたことはないんですけど、財布をすられたことはあります。ガイドブックには「スリに注意!」と書いてある場所だったので、警戒してお金はほとんど持たず、カードだけ持って出かけることにしたのですが……。

場所はポルトガル・リスボンのサンタ・クララ広場。そこで開催されている、その名も「泥棒市」というマーケットです。ただ、今思えばすごく気をつけていたことに、間口が広いトートバッグで出かけていったのがダメだったんでしょうね(笑)。

でも、そんなにスリって巧みだと思いませんでした。いつ盗られたのか分からないんですよ。もちろん警察に行ったのですが、私の後ろには同じくトラムのマンラインで財布をすられた海外からの旅行者の方がいました。そこもガイドブックで注意されている場所でした。

結局、警察で話しているうちに奇跡的に財布とカードが戻ってきましたが、やっぱりトートバッグはダメですね。カードも使えなくなってしまうので、少しの現金だけをポケットに入れて出なければよかったと後々思いました。

たびレジがあれば……

例えば大きなイベントが現地で行われる際は、事前に注意喚起メールを配信することがあります。観光客を狙った犯罪が多発しているところもあるので、十分注意してください。



たびレジ3つのメリット

1 出発前から旅先の状況を予習！

たびレジに登録すると、旅先の安全に関する基本データ、かかりやすい病気、危険情報、治安情報、現地の日本国大使館等の連絡先・ホームページ情報等が送られてくる。外務省からの信頼性の高い情報を事前に知ることができるので、出発前に観光の計画をたてる際にも活用できる。知ることが最大の防衛だ。

2 旅中も最新情報を随時受信！

現地では、常に最新情報を確認しながら安全に行動を。盗難やスリ、ひったくりの被害事例から、感染症の発生や突然のデモの注意喚起、交通機関のストライキ情報など、さまざまな旅先の情報を現地の大使館などが自動で届けてくれる。日本語でメールが届くので、今どこで何が起きているのかしっかり把握できる。

3 家族にも現地の情報をシェア！

旅に出る本人以外のメールアドレスもたびレジに登録でき、本人が海外で受け取る情報と同じものが登録した人全員に配信される。テレビやネットで国外の細かい情報を簡単に得ることは難しいから、待っているほうは帰国の連絡を受けるまで心配が絶えないもの。日本にいても逐一正しい状況を把握できる環境がベスト。

旅の予定がない人も「簡易登録」を！

「簡易登録」を利用すれば、旅の予定がない人や日程が決まっていない人でも、気軽に気になる国の情報を受け取ることができる。すべての国を選択すると、世界中の治安情勢を知ることが可能だ。

出発前の最終チェックリスト!

- パスポートの有効期限は確認しましたか? パスポートのコピーは準備しましたか?
- 現地の通貨は準備しましたか? ビザ(査証)の要不要は確認しましたか?
- クレジットカードは用意しましたか? 緊急連絡先と保険証は準備しましたか?
- 海外旅行保険には入りましたか? 航空券または控えは用意しましたか?
- 現地で車を運転する場合は国際免許証を取得しましたか?
- 海外で使える携帯電話は準備しましたか? 変圧器や変換アダプターは準備しましたか?
- 万が一のため常備薬は準備しましたか?
- たびレジ**に登録しましたか?

現地でメールを
チェックできる
環境を把握して
おこう。



登録は カンタン!

この3つを入力するだけ。
旅行の前にたびレジにアクセス!

URL : www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/
問合せ : 外務省領事局政策課 / TEL : 03-5501-8000 (内線5370)



1

メールアドレスを 入力

たびレジのウェブサイト
にアクセスしたら、「カン
タン新規登録」をクリッ
ク。まずは自分の連絡用
メールアドレスを入力し
て、登録用のURLを受
け取る。

2

必要情報を 入力

届いたメールに記された
URLをクリック。日程、
滞在国、旅行者情報など
の必要情報を入力する。
情報を受け取る家族等
のメールアドレスの入力
もここで。

3

登録 完了!

「登録完了のお知らせ」
のメールを受信して終
了。旅先の在外公館の
連絡先や、外務省の情
報ページも紹介されて
いるので、前もって確認
しておこう。



スマホ版HP